

ボランティア支援室について

ボランティア支援室は、「キリスト教主義」にもとづく徳育の一環として、学生によるボランティア活動を積極的に支援することにより、学生の自主性、社会性および奉仕の精神を育むとともに、市民社会の一員としての自覚を促すことを目的としています。また、このような学生の成長への支援と同時に、その活動を通じて、大学が地域社会の一員としての責任に答えていくことを念頭に活動します。

ボランティア支援室学生スタッフARCO

「地域と共に」をスローガンに、同志社大学の学生のボランティア活動の活性化を目的として、ボランティア情報の発信・紹介やイベントの企画・運営などを行っています。



また、基幹事業として、『同志社つながる@カフェ』を実施しています。この事業は、「地域と学生の出会いの場」をコンセプトに、地域で活動する様々な方々と出会い、気軽に情報交換ができる場を提供するものです。

※学生スタッフの募集には募集時期や応募条件あり。現在、活動は今出川校地のみ

同志社ボランティアネットワーク

同志社ボランティアネットワーク（通称 V-NET）は、同志社大学に所属するボランティア団体（公認団体、学生支援センター登録団体）の活動のさらなる活性化を目的とした、学内ボランティア団体横断型のネットワークです。

今出川、京田辺それぞれの校地ごとにネットワークをつくり、団体同士の情報交換会や企画を実施しています。



学外の方へ ボランティア募集の受付について

同志社大学の学生を対象としたボランティア依頼や募集情報がありましたら、ボランティア支援室までお寄せください。なお、ボランティア募集を希望される団体・施設様には団体登録の手続きをお願いしています。詳細は、ボランティア支援室ウェブサイトをご覧ください。http://volunteer.doshisha.ac.jp/outside/ 手続きについては、上記ウェブサイトに掲載している「ボランティア情報の取り扱いに関する方針」をお読みください。



今出川校地

- 地下鉄「今出川」駅から(徒歩)1分
- 京 阪「出町柳」駅から(徒歩)15分

京田辺校地

- 近鉄「興 戸」駅から(徒歩)15分
- 近鉄「新 田 辺」駅から(バス)10分
- 近鉄「三 山 木」駅から(バス)7分
- J R 「同志社前」駅から(徒歩)10分

同志社大学 学生支援センター ボランティア支援室

開室時間 9:00~17:00 (平日)

HP <http://volunteer.doshisha.ac.jp/>



今出川校地

〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103
室町キャンパス寒梅館1階
Tel(075)251-3236 Fax(075)251-3099
Mail ji-volun@mail.doshisha.ac.jp

京田辺校地

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3
京田辺キャンパス多目的ホール
Tel(0774)65-6777 Fax(0774)65-7421
Mail jt-volun@mail.doshisha.ac.jp

であう。つながる。ひろがる。



Doボラは同志社大学ボランティア支援室の略称です



ボランティア
相談・紹介



ボランティア
情報の提供



各種
プログラム



地域と大学
の交流



同志社大学 学生支援センター

ボランティア支援室

Support Office for Student Volunteer Activities

ボランティアとは？

ボランティアは誰にでもできる、
いつからでも始められる活動です。

「ボランティア」という言葉に対して、あなたはどんなイメージを持っていますか？

- ・ボランティアは特別な人がするもの
 - ・ボランティアは福祉分野ばかり
 - ・ボランティアはつらい、地味、自己犠牲……
- そんな風に考えていませんか？

一般的なボランティアのイメージとして連想されがちな社会福祉分野での活動はもちろん、自然・環境、国際、スポーツ、まちづくり、災害支援など、活動分野は多岐に渡ります。ボランティア支援室に寄せられる多様なボランティア情報の中から、自分に合った活動を探してみましょう！

参加の流れ

STEP 1

まずは
ボランティア
支援室へ！

STEP 2

相談
※スタッフがあなたに
びったりの活動を探
お手伝いをします。

STEP 3

行ってみたい
活動先に
申し込み

STEP 4

活動に参加！
※活動後は感想などを
ボランティア支援室に
お寄せください！

ボランティア保険加入

- ⚠️ 活動先で物を壊してしまった！
- ⚠️ 自分が怪我をしてしまった！
- ⚠️ 相手に怪我をさせてしまった！

ボランティア活動中に、事故にあったり、上記のようなトラブルに対して責任を問われたりする可能性もあります。万が一の事態に備え、ボランティア保険に加入しましょう。保険期間は4月1日～翌年3月31日まで。期間途中の加入の場合は、保険料振込日の翌日～当該年度の3月31日までとなります。

問い合わせ先：全国各市町村社会福祉協議会

ボランティア活動の際の注意点

1. 約束・時間は守ろう
2. プライバシーは守ろう
3. できることから少しずつ行い、継続できる活動にしよう
4. 相手の立場にたって考えよう
5. 積極的に関わろう
6. 万が一の事故に備えて、ボランティア保険には必ず加入しよう
7. 自分だけで判断できないことは活動責任者に連絡・相談をしよう
8. 活動が終わったら、自分自身を振り返ってみよう



ボランティア活動をしたことがない！

初心者



まずは身近なことから始めよう！

ボランティア支援室主催のプログラムに参加して興味のある活動分野を見つけたり、得意なことが活かせる活動を探してみよう。

たとえば…

- ボランティア入門講座
- 体験ボランティアプログラム
- 同社社つながる@カフェ
- ボランティアフェア

など



PICK UP

体験ボランティアプログラム 和束のお茶を守ろう！茶畑ボランティア



体験ボランティアプログラムは初めてボランティア活動をおこなう学生を対象に実施するプログラムです。

和束町のお茶農家さんの茶畑で、収穫作業を1泊2日で行いました。秋には和束町最大のお祭り「茶源郷まつり」内のイベントにスタッフとして関わりながら、ボランティア体験をしました。実際の活動と地元の方との交流を通じて、和束に暮らす人々の想いや抱える課題に触れ、学生の立場でもできることについて考える機会となりました。



- コーディネーターや ARCO に相談

ボランティア支援室では、コーディネーターや学生スタッフ ARCO がボランティア相談を受け付けています。いつでも窓口へお越しください！



メールマガジンに登録

おすすめのボランティア情報やイベント情報を、月2回配信しています。ぜひメールマガジンに登録して、最新のボランティア情報をキャッチしてください。



登録は、ji-volun@mail.doshisha.ac.jp へメール送信！



経験はあるから、もっと
いろんな活動の場がほしい！

経験者



経験を活かして活動の幅を広げよう！

様々な分野のボランティアやセミナーに参加し、活動の幅をさらに広げてみよう。

たとえば…

- スキルアップ講座
- 分野別ボランティア体験
- 災害ボランティアセンター講座
- まちづくりに関する地域の会議に参加



PICK UP

スキルアップ講座

【スキルアップ講座】とは、ボランティア活動に取り組んでいる学生や学内ボランティア団体等を対象に、活動に活かせる発展的な知識やスキルを学ぶ場を提供するボランティア支援室主催の講座です。今までに「組織運営」や「企画のつくり方」といったテーマで開催し、講師をお招きすることで、普段の活動では知ることのできない新しい視点や考え方を学ぶ機会となりました。



- 運営スタッフとして活動に関わる

地域の方と一緒にイベントを作り上げる運営スタッフに挑戦してみませんか？参加者ではなく運営側としてボランティア活動に関わることで、新しい発見があるかもしれません。



学生スタッフ ARCO としてボランティアイベントの企画運営に携わることも可能です！



※運営スタッフの募集には募集時期や応募条件あり。